

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み
								環境 社会 企業統治 ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動




2025年 環境取り組みプラン

大項目	取り組み項目	実行計画・目標 等	
環境チャレンジ6項目	ライフサイクル CO ₂ ゼロ チャレンジ	<p>目標：13年度比 ▲12% (単位輸送量*あたり) ※1トンの荷物を1km or 1人を1km輸送する際のCO₂排出量</p> <p>「つくる・運ぶ・使う・廃棄する」すべてのプロセスでCO₂排出量削減 (各国・各業界との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●つくる (素材、部品、燃料製造) <ul style="list-style-type: none"> …車両生産は工場CO₂で取り組み ・材料使用量削減、部品点数削減 ・低CO₂材料の開発・使用拡大 ・リサイクル材料使用拡大 ・サプライヤー含めステークホルダーの協力を得た削減活動 ・各国政府・燃料業界と連携した再エネ・グリーン水素の普及活動 ●運ぶ (部品物流) <ul style="list-style-type: none"> ・工場間物流や完成車輸送ルート見直し及び積載率向上 ・トレーラー輸送による効率化、モーダルシフト ・補給部品輸送の効率化 ●使う …新車CO₂における取り組み ●廃棄する (含む メンテナンス) <ul style="list-style-type: none"> ・販社でのHEV・BEV社用車、LED化によるCO₂削減 ・販社拠点の再エネ発電設備の導入、再エネ電力の購入 ・環境配慮設計の実施 (「解体し易く、リサイクルし易い」設計) 	
	新車CO ₂ ゼロチャレンジ	電動化車両の開発、導入	<p>目標：13年度比 ▲15% (単位輸送量あたり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電動化車両の技術開発と市場導入 <ul style="list-style-type: none"> ・FCEV：FCEVの開発及び大型FCEVトラックなどの実証実験 ・BEV：BEVの開発および <ul style="list-style-type: none"> 小型BEVトラック「日野デュトロ Z EV」、 小型BEVバス「日野ポンチョ Z EV」などの市場導入
		ディーゼル燃費の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●各国の新たな燃費規制に対応する技術開発と市場導入 <ul style="list-style-type: none"> ・日本：JH25規制に対応する技術の開発と市場導入 ・米国：EPAおよびCARB2024に対応する技術の開発と市場導入 ・欧州：次期規制に向けた燃費向上技術の開発推進 ●代替燃料対応技術の研究推進 <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラル燃料に対応する技術開発
		輸送効率化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●物流業界における輸送効率の最大化 <ul style="list-style-type: none"> ・業種業態を超えた様々な荷物の混積による積載率の向上 ・ダブル連結トラックの活用による大量輸送の実現 ・車両×荷物×ドライバー情報の活用による物流効率化
	工場CO ₂ ゼロチャレンジ	革新技術の導入	<p>目標：13年度比 ▲30% (グローバル総排出量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新車種対応、老朽化更新時の低炭素新技術導入 (例) エアレス塗装、ドライブース 等 ●社外の新技术動向の調査と導入検討
		日常改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の改善活動の積み重ねによるCO₂排出低減の最大化 (例) 作業時間の短縮、設備集約、工程寄せ止め 等 ●高効率機器の導入によるCO₂削減 (例) LED、モータ、空調設備 等
		再生可能エネルギーの導入	<ul style="list-style-type: none"> ●自社敷地内 (オンサイト) への太陽光パネル設置促進 ●各国/地域毎の電力事情を考慮した最適な再生可能エネルギー電力 (太陽光・水力発電) への転換

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2025年 環境取り組みプラン

大項目	取り組み項目	実行計画・目標 等	
環境チャレンジ6項目	水環境インパクト 最小化チャレンジ 	目標:水使用の無駄を省いた削減の取り組み(全グローバル工場) 使う水は少なく	<ul style="list-style-type: none"> ● 塗装ドライブース 等、省水新技術の積極導入 ● 水漏れ箇所の修繕や散水、シャワー水量の適正化等、日常改善による節水推進 ● 各国各地域の水環境事情を考慮した水量低減活動と水使用リスク評価の実施
		還す水はきれいに	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国各サイトにおける排水のリスク評価の実施
		目標:18年度比 ▲12% (グローバル総排出量)	
	廃棄物 ゼロチャレンジ 	廃棄物ゼロに向けた削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 革新的な新技術導入検討 例) 廃砂再生設備、(廃プラ 等)燃料化設備 等 ● 日常改善の活動推進 例) 歩留り向上による発生源対策、脱水での減容化 等 ● 有価物化やリサイクル化による削減
		古い車を活かした 新しい車づくり(Car to Car)	<ul style="list-style-type: none"> ● レアメタル、天然資源の回収技術開発 ● リサイクル率向上技術の開発
		梱包包装資材の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用量低減に向けた梱包方法の改善、リターンブル化の拡大 ● 梱包包装資材のプラスチック材の代替化 目標:国内連結 単位容積当たり梱包資材量 18年実績以下
	生物多様性 インパクト 最小化チャレンジ 	目標:「自然と共生」するモデル工場を2拠点設置	
		緑と水の保全、自然と共生する 工場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑と水の保全を主とした事業所内外の植樹、希少種保護、河川清掃の活動推進 ● 従業員や地域の学校 等と共に取り組む保全活動の推進 例) 従業員教育、近隣学校との環境学習会 等

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2025年 環境取り組みプラン

大項目	取り組み項目	実行計画・目標等	
法令順守	大気	製品における大気汚染防止の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● NOx、PM、VOC 等の製品における排ガス法令基準値の順守 ● 各国、各地域の大気環境改善に資する低排出ガス車の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・日本 : 14次答申(PN規制)対応車の市場導入 ・米国 : EPAおよびCARB2024適合車の市場導入 ・一般国: 低排出ガス車(EURO4,5,6レベル)の導入推進 ● 次期規制 等にもむけた研究開発の推進
		生産における大気汚染防止の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● NOx、PM、VOC 等の設備における排ガス法令基準値の順守 ● 塗装工程におけるシンナー回収、塗着効率の向上による、VOC 排出量の低減 ● 目標: 単位面積当たり排出量 18年実績以下
	水質・土壌	生産における排水管理、地下浸透防止	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水における自主基準値の設定と、監視頻度を増やすことによる排水質の向上
		土地取引や改変時の汚染拡大防止	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規土地購入や売却、賃借時の規定に基づく確認実施 ● 敷地内土地改変時における汚染度合いの把握と届出実施
	騒音・振動	製品における騒音・振動の低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国、各地域の車両騒音法令順守
		生産における騒音・振動の低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場設備や敷地境界での騒音、振動の低減、基準順守に向けた取り組み ● 新規工場や設備導入時の事前検討と導入後の効果確認
	廃棄物	廃棄物の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物、産業廃棄物の契約締結と適正な委託処理
	化学物質	製品における化学物質管理、負荷物質低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品に含有する化学物質のデータによる100%管理 ● 素材や部品に使用されている規制物質の確実な切り替え
		生産における化学物質管理、負荷物質低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産工場で使用する補助材、副資材の禁止物質管理 ● 補助材、副資材の使用量低減や代替化による環境負荷低減
	事故防止	事故未然防止(違反・苦情、異常・申入れゼロ)	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去事象の要因解析による日野グループ内各拠点への横展 ● 環境人間づくりによる液物取扱い作業 等の標準化
マネジメント	環境人間づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境人間づくりのルール化と各工場への展開 ● 従業員に向けた階層別の環境教育の実施、人材育成の推進 ● 意識啓蒙活動の体系的な実践 	